

# ご挨拶

- ① 出身地
- ② 研究内容
- ③ 趣味
- ④ 好きな言葉



## 就任のご挨拶

**日向 信之** 大学院医系科学研究科 医学分野 腎泌尿器科学 教授

- ① 愛知県
- ② 泌尿器悪性腫瘍
- ③ 音楽
- ④ 雲外蒼天

2021年10月1日に大学院医系科学研究科 腎泌尿器科学の教授に着任いたしました日向 信之（ひなた のぶゆき）です。私は1998年に神戸大学医学部を卒業し、同大学院を経て関連病院での研鑽の後に2010年からは鳥取大学へ、2012年からは神戸大学に戻り、2015年には米国Roswell Park Cancer Instituteに留学いたしました。2016年からは神戸大学の特命准教授と先端外科医療・内視鏡トレーニングセンター長を兼任して参りました。

私の専門分野は泌尿器悪性腫瘍であり、これまで解剖学的基礎研究と臨床的研究に基づいた先端的術式の開発と臨床応用、次世代医療機器の開発と臨床応用、そして、泌尿器悪性腫瘍に対する集学的治療を目指した基礎・臨床的研究などの研究に携わって参りました。

今後は伝統ある広島大学腎泌尿器科学講座の研究を継承・推進し、産官学・医工をはじめとした他学部との連携や、基礎医学講座を含めた他の講座との連携によって、患者の立場に立った、臨床現場のニーズに基づく研究課題を設定し、Translational researchや国内外との連携による共同研究の推進を行うことにより、学問としての泌尿器科学の進歩への貢献と、臨床応用できる患者にとって有益な研究を行って参ります。

新たな環境でまだまだ不慣れなことが多いのですが、広島大学のさらなる発展に貢献出来るよう粉骨砕身頑張る所存です。皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 新設講座紹介



## 核酸医薬共同研究講座について

**田原 栄俊** 大学院医系科学研究科 薬学分野 細胞分子生物学 教授  
(核酸医薬 共同研究講座担当)

本講座は、核酸医薬の開発に取り組むPURMX Therapeutics社との共同研究講座として、令和3年8月に設置されました。核酸医薬は、低分子医薬、及び抗体医薬では標的にできなかった細胞内分子を標的にできるという特徴を有します。そのため、これまでの医薬品では治療が困難であった難治性疾患などに対する可能性が期待されている次世代医薬です。令和3年5月時点で承認された核酸医薬は世界でまだ15品であり、今後のさらなる研究開発が期待されています。

本講座は、核酸医薬のシーズ育成、及び革新的な新規シーズの発掘により、最先端の革新的核酸医薬を創出することと目的としています。

第一弾として、マイクロRNAを主成分とする革新的核酸医薬シーズMIRX002を用いた、悪性胸膜中皮腫を対象とした医師主導治験（フェーズ I 試験、広島大学で実施）において、PK試験や次世代シーケンシング解析を担い、MIRX002の医薬としてのエビデンスの構築を目指します。同時に、悪性胸膜中皮腫以外の様々ながん患者さんを救うことを目指し、MIRX002の適応拡大のための基礎研究を実施します。

さらに今後、革新的な新規核酸医薬のシーズを発掘していくことで、難治性疾患の患者さんや、アンメットメディカルニーズのある疾患領域の治療法の発展に貢献していきたいと考えております。